

第3回 プロセス産業向け設備・システム ASEAN販路拡大支援パッケージプログラム

資料請求フォーム

参加費用

¥540,000+往復航空券手配料金
(各種税込) / 1社1名様

※1社から複数名参加の場合、2名様目以降1名様あたり
【参加費用:¥180,000(各種税込)+往復航空券手配料金】が必要と
なります。
※各地からジャカルタ往復の航空券手配は必ず本プログラムの旅行の企
画・手配を行う日通旅行(株)にてご手配ください。また延泊をご希望の
場合も必ず日通旅行(株)にてご手配ください。

参加料金に含まれるもの

- 国内事前・事後勉強会費
- 現地研修会参加費用
- ホテル宿泊料金および税・サービス料金(4泊分)
- 工場見学参加費用(移動費込)
- 旅行中朝食
- 事前マッチングアレンジ料
- 全体通訳(のべ3名様程度、各社個別利用不可)
- 研修資料費
- 展示用会社案内ポスター(A1・1枚程度)
- 事務局作成現地配布資料印刷費

参加料金に含まれないもの

- 国内事前・事後勉強会の国内移動費
- 天災不可抗力事由により生じた費用
- 航空運賃
- 各社単独資料作成費・英訳費
- 昼食・夕食費
- その他個人的費用
- 個別通訳アテンド費
(クリーニング代、電話代、飲食代など)
- 現地自由行動経費
- ホテル⇄空港の移動経費、出発・帰国後宿泊費
- 任意海外旅行保険
- サンプル品等輸送・通関手続きに関するコスト
- 超過手荷物料金
- 渡航手続経費(旅券印紙代など)

参加申込締切

2016年12月9日(金)
(ご入金期限:2017年1月27日(金))

旅行企画・手配に関するお問い合わせ先

今回のプログラムは、ジャカルタのホテルでの現地集合、現地解散となっております。
航空券の手配は必ず下記代理店にてお願いします。エコノミー・ビジネスクラスともご
手配可能ですので、ご相談ください。
【旅行代理店:日通旅行(株)団体営業部 営業第3課 担当:町田 純一】
電話:03-6256-0173 Email: jyu-machida@nittsu.co.jp

キャンセル料規定

本申込後、お客様の都合で契約をキャンセルされる場合にはキャンセル料が発生し
ます。詳細はお申込時に必ずご確認ください。

プログラム内容に関するお問合わせ先

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター / アジア共・進化センター
担当:上沖
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14F
TEL:03-3434-0998 FAX: 03-3434-8076 email: asia@jma.or.jp

お申込方法 および 詳細資料のご請求について

まずは以下の請求フォームで事務局にご連絡ください。詳細資料および正式なお申込用紙をお送りいたします。

1 ご希望の項目に☑を入れてください。

- 参加決定 → 本申込書送付を希望 参加検討中 → 詳細資料の送付を希望
- 詳細な説明を希望 担当者から詳細な説明を希望

2 貴社情報をご記入ください。

フリガナ			
会社名			
部署名		役職名	
フリガナ			
氏名			
住所			
TEL		FAX	
E-mail			
備考			

個人情報保護方針

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針(<http://www.jma.or.jp/privacy>)をご覧ください。今回、ご入力いただきましたお客様の個人情報は、今後の各種案内のために利用させていただきます。なお、個人情報はデータの処理および配送の依頼等で機密保持契約を締結した業務委託先に預託することがありますのであらかじめご承知おきください。

一般社団法人日本能率協会 アジア共・進化センター行
FAX to 03-3434-8076

Pertamina/Chandra Asriなどインドネシア大手化学会社やエンジ会社とネットワーキング

INCHENI TOKYO

タイアップ特別企画

平成28年度プラント用設備・システム販路拡大支援事業
参加企業募集のお知らせ

第3回 プロセス産業向け設備・システム ASEAN販路拡大支援 パッケージプログラム in インドネシア

限定
15社
申込締切
2016年
12月9日(金)

商談会 技術PR 現地調査 視察 人脈形成 人材育成

日程 2017年2月21日(火)~23日(木)

実施場所 インドネシア・ジャカルタ ほか

- 主催 一般社団法人日本能率協会 アジア共・進化センター 協力 公益社団法人化学工業会
共催 インドネシア共和国大使館、インドネシア大学 運営 株式会社事業革新パートナーズ
後援 経済産業省(申請予定) 旅行企画・手配 日通旅行株式会社

委員長 アドバイザー

 東京工業大学 名誉教授
(元理事・副学長)
小川 浩平氏

 東京農工大学 准教授
工学研究院 応用化学部門/
工学部 化学システム工学科
ウレッド・レンゴロ氏



貴社でお取扱いの化学プラント向け設備・サービスのインドネシア販路拡大を支援します。

参加対象

以下を取り扱う企業の経営者・経営幹部および海外ビジネス責任者・担当者

- 化学機械・粉粒体機器・流体輸送機器
- 制御・計測、分析・ラボ機器、安全機器・装置
- プラント部材・プラント付帯設備
- エンジニアリングシステム、ITソリューション
- 各種省エネ・省コスト対策ソリューション
- プラントメンテナンス長寿命化対策

参加メリット

~貴社の海外事業展開を強力サポート!!~

インドネシア新規顧客開拓・ビジネスパートナーの発掘

今後さらなる拡大が見込まれるASEAN市場へのプロセス設備・システムの販路拡大を目的に、ASEANにおけるプロセス産業の一大製造拠点であるインドネシアで新規顧客開拓およびビジネスパートナー発掘が可能です。

現地ビジネス スキルアップ

インドネシア市場をはじめ、海外販路拡大を図る上で必要なスキル・知識の向上を通じた貴社における海外ビジネス人材の教育・育成ができます。

インドネシア関連業界および政府関係者との人脈形成

インドネシアにおけるビジネス展開を担う業界関係者同士の課題認識の共有および人脈の形成が可能です。

過去参加企業の声(抜粋)

ASEANの市場では製品のメンテナンスを考慮しなければならないことが分かった。

華人系商社が現地では強いと考えていたが、日本の代理店やメーカーも受け入れられるケースがあるという情報は有益だった。

商談会を通して、2~3社の実現性の高いエージェントが発掘できた。

商談会で面会した8社中、見込みのある4~5社を個別訪問する予定。



<http://www.jma.or.jp/asia/process/>

貴社のプロセス産業用設備・機械の インドネシアマーケットへの販路拡大を強力支援!

以下の大手企業その他、多数のインドネシア企業とのネットワーキングを実現します!

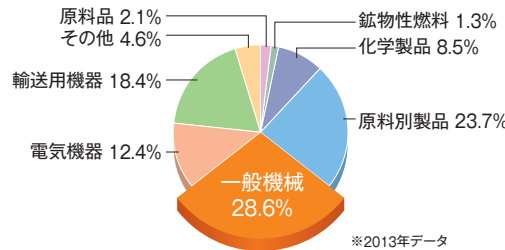


日本製機械・システムに高いニーズ

インドネシアは人口2.4億人を抱えるASEAN最大国です。GDPは毎年5%を超える伸びを見せ、中間層の増加に伴い国内の内需は増加の一途をたどっています。しかし、石油化学製品に関し、インドネシアは国内の生産力ではその需要を賄いきれず、各石油化学製品を海外から輸入するため、貿易赤字の一因となっています。このためインドネシア政府は、川上の石油精製から川下の石油化学製品まで一貫した生産するための国内基盤づくりを目指しており、今後の石油化学プラントの増強に期待が求められています。その意味で、インドネシアでは高効率かつ高付加価値な日本の化学機械や各種サービスに対する期待が高まっています。

インドネシアにおける対日輸入品目構成比

対日輸入額1兆6,618億円 (JPY 1,661.8 Billion)



サービスプログラム

現地企業とのビジネスマッチング

インドネシアの業界団体と提携し、参加企業の皆様のご要望をもとに顧客対象企業、およびビジネスパートナー候補を多数来場動員し、皆様とのビジネスマッチングを実施します。

事前ビジネスマッチング

参加企業の皆様から事前にいただいたマッチングのご要望に基づき、インドネシア国内の見込顧客・ビジネスパートナー候補企業とのビジネスマッチングを事前にアレンジします。参加企業1社あたり、4~5件のマッチングを予定しています。

前回タイでの実績 **実施マッチング件数: 75件 (1社あたり10件程度)**

2 現地座談会

現地の第1線で活躍する政府関係者、化学メーカーの第1人者と勉強会を開催。ASEANビジネスの最新情報を得られます。

- 会場: インドネシア政府関連機関またはホテル(ジャカルタ)
- 講師招聘予定企業: ●インドネシア政府関係者 ●PT Pertamina ●インドネシア商工会議所関係者 ●PT Pupuk Kaltim ほか

1 PT Pertamina(インドネシア国営石油会社)

PT.Pertaminaは1957年に創業、インドネシア共和国政府が100%株式を保有する同国最大の石油・天然ガス関連事業者である。現在は石油・天然ガスの開発から精製、そして石油製品、石油化学製品の流通・販売を行っている。グループ連結の売上高は2015年末現在、41,763億米ドル(約4兆2000億円)、従業員数は27,971人を数え同国最大の企業のひとつである。現在、インドネシア国内では6つの製油所を運営するほか天然ガスプラントも保有しているほか、潤滑油関連の事業では国内のみならず日本を含む海外市場への輸出も行っている。

2 PT Pupuk Kaltim

インドネシアの国営肥料会社であるカルティム社(PT Pupuk Kaltim)は1983年からアンモニアと尿素の生産を開始しておりインドネシア国内に多数のプラントを運営している。現在、世界的な肥料会社としても知られる同社は、インドネシア国内だけではなく、海外にも合併での肥料プラントを抱えており、グループ売上高16.54兆ルピア(約1290億円)に上る大手企業である。

3 PT ReKayasa Industri

レカヤサ・インダストリ社はインドネシア最大のエンジニアリング会社であり、EPCコントラクターである。既に多くの日本の大手エンジニアリング会社とJVを組み、インドネシア国内はもちろん海外のプロジェクトも実施している。2014年度の売上高はグループ全体で約6兆7560億ルピア(約527億円)を超える大手企業である。

4 PT Chandra Asri Petrochemical Tbk

チャンドラ・アスリ・ペトロケミカル(PT Chandra Asri Petrochemical Tbk)はインドネシア最大の総合石油化学品メーカーである。国内最大のナスサクラッカー、および45Kmのパイプラインを敷設したエチレンクラッカーを保有している。現在、エチレン、プロピレン、混合C4、熱分解ガソリン、ポリエチレン、ポリプロピレン、スチレンモノマーを製造する。インドネシア国内のダウンストリーム分野および近隣国の輸出産業に製品を提供している。2014年度の売上高は2014年度の業績は売上2460億円、純利益は18億円であった。2016年度は増収・増益を予定しており、インドネシア国内各所で数多くの増強計画が発表されている。

※2016年9月現在

全体スケジュール



現地予定プログラム 2017年2月上旬/事前勉強会 2017年3月/事後勉強会を都内研修室で実施します。

	AM	PM
2月20日(月)		各自で移動・チェックイン <前日 ジャカルタ着・ホテル宿泊>
2月21日(火)	インドネシア 業界関係者との交流および座談会	
	①講演 「インドネシアにおける石油化学産業政策」 講師:インドネシア政府関係者	■現地企業訪問(ジャカルタ近郊) インドネシア現地の日系、非日系エンジニアリング会社を訪問し、会社視察および現地ビジネスの最新動向をご紹介いただくほか、訪問先企業とのディスカッション・交流を行います。 訪問予定先 ① PT. ReKayasa Industri 訪問予定先 ② 日系大手エンジニアリング会社
	②講演 「インドネシアにおける化学肥料メーカーの最新動向(仮)」 講師:PT. Pupuk Kaltim	
③講演 「インドネシアにおける石油化学プラントメーカーの最新動向(仮)」 講師:PT. Pertamina	■交流会(予定) インドネシア現地の化学業界、エンジニアリング会社、設備メカ等の業界関係企業をお招きして、今後の人脈づくりを目的とした交流会を実施します。 <ジャカルタ・ホテル宿泊>	
2月22日(水)	日・インドネシア プロセス技術フォーラム&商談会(会場:インドネシア大学)	
2月23日(木)	■日・インドネシア プロセス技術フォーラム 本プログラム参加者との商談・ネットワーキングを行っていただくために、インドネシアのプロセス技術関係者を多数来場動員する「日尼プロセス技術フォーラム」を開催します。インドネシア側からは現地大学関係者、民間企業研究者を講師として招き現地のニーズやシーズを発表するほか、本プログラム参加企業の技術紹介を行います。	
	■商談会 事前に本プログラム参加企業様のご希望にもとづき商談相手をアレンジします。 ※1社につき2月23日~24日の2日間で4件~5件のビジネスマッチングのセッティングを予定 <ジャカルタ・ホテル宿泊>	
2月24日(金)	現地視察(ジャカルタ近郊およびメラク地区)	現地視察(メラク地区付近)
	■企業視察&意見交換① ~日系化学メーカーのプラント視察	■企業視察&意見交換② ~インドネシア・ローカル化学メーカーのプラント視察 <ジャカルタ・ホテル宿泊>
帰国:各自でチェックアウト・移動してください。		
商談会予備日。22日の商談会で良い感触を得た会社等と改めてアポイントをお取りいただく、または現地で興味のある企業への営業訪問等、自由にアレンジください。		

※上記プログラム・講演テーマは一部変更の場合があります。

3 貴社技術をインドネシア業界関係者へプレゼンテーション

インドネシアにおけるプロセス技術に関する産学連携イベントとして、「日尼プロセス技術フォーラム」を開催します。日本・インドネシア両国の産学のプロセス技術者を講師として招聘し、インドネシア国内の業界関係者を多数動員します。本フォーラム中、本企画参加企業の技術PRやテーブル展示、個別商談やネットワーキングを行いますので、参加企業は多くの業界関係者とネットワーキングが行うことができます。

- 来場動員目標数 150名 会場 インドネシア大学
協力 インドネシア大学、インドネシア共和国大使館

4 企業訪問工場見学

現地を代表する化学メーカー・肥料メーカー等の工場を訪問し、プラント視察と生産担当者とのディスカッションを通じ現地でしか掴めないニーズ・状況を獲得できます。

- 見学予定工場 日系化学メーカー、Chandra Asri関連工場など2~3工場

5 事前・事後勉強会

プロセス設備・システムに関するASEANマーケットでの販路拡大事前勉強会を実施し、実際の商談前の準備・海外輸出に関する基本事項・ビジネス商習慣等について情報共有します。また帰国後、実際に商談会等を終えてどのような成果があったか、また課題は何か、今後どのように展開すべきか事後フォロー勉強会も実施します。

